

芸術科(書道)シラバス		2単位	普通科 第2学年 1～4組
年間の到達目標		1. 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 2. 書を楽しむ態度を通して感性を豊かにし、様々な場面に対応する書写能力を高めます。 3. 1と2の学習を通じて自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしてゆきます。	
教科書・副教材等		書 教育図書	
学期	月	学習内容(実施予定時数)	学習のねらい
4	1	1. 書の歩み 書体の移り変わり 書と現代	書体の移り変わりを理解し、現代的意義について考えます。 各古典の字形や線質の違いを理解し自分の思考や感動を表現できる技能を修得します。 良く出来た作品を全国学生書道展に出品します。 篆書の特徴について理解を深めます。 篆書の成立・筆遣いを学びます。 臨書を通して字形の取り方やまとめ方を学びます。 作品に対する効果を考え、姓名印を刻し、押印します。 篆刻の技法を学びます。
	5	2. 楷書と行書の学習	
	6	3. 篆書の学習 篆書の特徴 篆書古典の鑑賞と臨書	
	6	4. 篆刻の学習 篆刻の技法(姓名印) 篆刻の歴史を知る 印材を磨る 印稿を作る	
中間考査範囲			
7		布字 運刀 印譜に押印 篆刻作品の鑑賞	篆刻作品の鑑賞の仕方を学びます。
期末考査範囲			
〔備考〕【1学期の評価方法】 授業中に制作した作品を毎回提出します。 「関心・意欲・態度」「芸術的な感受や表現の工夫」「芸術的な表現の技能」及び「鑑賞の能力」の4つの観点で総合的に評価します。			
9	5	5. 隷書の学習 隷書の特徴 隷書の特徴と基本点画 隷書古典の鑑賞と臨書	隷書の成立について理解します。 隷書の特徴と基本点画について理解を深めます。 臨書を通して字形の取り方やまとめ方を学びます。 良く出来た作品を全国学生書道展に出品します。
	10		
	11	6. 草書の学習	
	12	草書の成立 草書古典の鑑賞と臨書	
中間考査範囲			
期末考査範囲			
〔備考〕【2学期の評価方法】 2学期の学習内容に対して、1学期の評価方法と同様に評価します。			
1	7	7. 仮名の書の学習 仮名古典作品の鑑賞と臨書 散らし書きの学習	それぞれの古典の特徴を理解し、多様な表現方法を身に付けます。 古典の散らし書きを学習し、創作の参考にします。 書風の違いや墨色の変化を取り入れ、また、これまでに学習した古典をもとにしたり、 用具・用材を工夫して、多様な表現を試みます。
	2	8. 漢字仮名交じりの書	
	3	書風と墨色の変化 古典の応用 用具・用材の工夫	
学年末考査範囲			
〔備考〕【3学期の評価方法】 3学期の学習内容に対して、1、2学期の評価方法と同様に評価します。 【学年末の評価方法】 (1学期の評価+2学期の評価+3学期の評価)÷3 を評価の原則とします。			
評価の観点	内 容		評 価 方 法
関 心 意 欲 態 度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書を通して、書写能力を高め、生活に即した書表現に関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。 漢字の書を通して、書の多様な美しさに関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。 仮名の書を通して、日本の伝統的な書的美に関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。 鑑賞活動を通して、書を愛好し日常生活における書への関心を高め、意欲的、主体的にその美しさを味わおうとしているか。 後片付けも含めて、用具・用材を正しく取り扱っているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 プリントの記入、作品ファイル整理状況 学習活動への参加の仕方や態度・意欲 用具の扱い方、片付けの状況
芸術的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 感性を豊かにし、漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の良さや美しさ、多様性、書表現の特性を感じ取り、創造的な表現を工夫しているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 プリントの記入、作品ファイル整理状況 学習活動への参加の仕方や態度・意欲
創造的な表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書を通して自己を主体的に表現する能力を伸ばし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身につけているか。 漢字の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、各書体を表現するための基礎的な技能を身につけているか。 仮名の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、仮名の書を表現するために必要な仮名の筆法の特徴を理解し、基礎的な技能を身につけているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 プリントの記入、作品ファイル整理状況 学習活動への参加の仕方や態度・意欲
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、その良さや美しさを深く味わっているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 自己評価、感想のプリントの記入状況 学習活動への参加の仕方や態度・意欲
〔担当者からのメッセージ〕			
<ul style="list-style-type: none"> 書道 で習得したものを基礎として引き続き一人一人の個性を活かし、伸ばしてゆくことを学習の目標とします。練習する古典の部分や題材とする語句などを自分で選ぶこととなります。自分を表現し、活かすことの出来る選択をしてゆきましょう。 「何が出来ているか」より、「何が出来るようになったか」を大切にしたいと思います。1時間の中での進歩、学期を通しての進歩、そして1年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習への取り組みを期待します。 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、感性を高め、豊かな情操を養ってください。 すばらしい古典より人間性を学び、より自分を磨いてください。 書道 を通して、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになることを希望します。 			

